



文化博物館だより 第223号

2008年8月5日

みなさん、こんにちは。8月に入り、各地で夏祭や花火大会が行われていますね。

● Drオチャメのロボットアカデミーへようこそ！

ロボット展の目玉のひとつ、ドクターオチャメのロボット工作教室が行われ、8月2日(土)と3日(日)は、音の出るロボット・ガッキンロボットを作りました。

事前に申込みをして、ドクターオチャメのロボットアカデミーへ入塾した子ども達は、「音が出るものって、どんなものかな？」というドクターオチャメからの問いかけに、元気よく手をあげて答えていました。

簡単な道具で音を出せることを教わりながら、二つのコップの口を合わせた中に、ビーズを入れたマラカスやストローで作る笛、輪ゴムを利用して作る弦楽器が組み合わされたものを作ります。

細工したストローを吹くと、「プーッ」と音が鳴り、うまく音が出ると、子ども達は「鳴った！」と何度も鳴らして楽しそうです。ドクターオチャメは、「しばらくは、鳴らして遊ぶだろうね」と、お家に帰ってからのお母さん達の心配を予想する発言。けれど、子ども達は無邪気に遊んでいました。



ドクターオチャメの講義中です

● イベントの空き状況

8月1日(金)から受付を開始したイベントのうち、「ペットボトルで作る『コロコロカー』」(17日(日)開催)は、すでに定員に達しています。

23日(土)の「さおり織でコースター作り」には、まだ空きがあるので、ロボット展ご観覧のついでに、ぜひご参加下さい。(電話：(078)918-5400)

明石駅の構内に、今、明石生まれの海がめの子がいるのをご存知ですか？ちょっと見にくいですが、仕事帰りに撮った写真です(→)。明石の海で、海がめが産卵しているのは、知りませんでした。今月10日まで、見ることができるですよ。